

第423回白石市議会定例会 一般質問通告書

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
1	11番 四 籠 英 夫	<p>1. 市長の所信表明について 山田市長におかれましては、10月の市長選挙において、激戦を制し、当選を果たされました。心からお喜びを申し上げます。今後4年間白石市政のかじ取りをされるわけです。今後のご活躍を期待しております。 市長は、議会初日に所信を表明されましたが、そのことについてお伺いいたします。</p> <p>(1) 風間前市長は、「共汗」「共学」「共生」をスローガンに掲げ、3期12年の市政運営を行ってこられました。山田市長は、そうしたキャッチフレーズとなるようなロゴをお考えでしょうか。</p> <p>(2) 市長は、教育の重要性を最重点にとり上げられておりますが、現在、小中学校の統廃合が進められようとしております。一部に統廃合に反対の声も上がっておりますが、このことについて市長のご見解をお伺いいたします。</p> <p>(3) これまでは新規事業や計画に取り組む場合、ややもすると「やれない」「できない」「予算がない」という傾向が見られましたが、市長は、必要なものにはしっかりと予算をつけていくとお考えを示されました。そのことについての具体的なお考えをお伺いいたします。</p> <p>(4) 市長は「まちのにぎわい」を取り戻すために、総合物産館となりえる道の駅の整備についても述べられておりましたが、将来的に道の駅をつくるお考えはあるのかお伺いいたします。</p>	市長
		<p>2. ササニシキの栽培再興について 食味日本一を獲得した「ササニシキ」を再興しようと5名の農家が立ち上がりましたが、その内容についてお伺いいたします。</p> <p>(1) 栽培に取り組むことになったのは、行政等からの働きかけがあったからなののでしょうか。自発的なものなののでしょうか。</p> <p>(2) 今年度の栽培面積と収穫量はどの位だったのでしょうか。</p> <p>(3) 販売先と販売価格についてお伺いいたします。</p> <p>(4) 今後、さらに栽培面積を拡大する計画があるのでしょうか。</p> <p>(5) その場合、どのような方法で農家に呼びかけるのでしょうか。</p> <p>(6) 他の品種よりも栽培が難しいとのことですが、栽培指導については、どのような体制をとられているのでしょうか。</p> <p>(7) 米の販路についてはどのようにお考えでしょうか。</p> <p>(8) 栽培奨励のための支援措置はお考えでしょうか。</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
	11番 四 竈 英 夫	<p>3. 通学路の安全対策について 最近、通学中の児童生徒の列に自動車突っ込み、幼い命が失われるという、痛ましい事故がありました。何の落ち度もない児童生徒の命が、理不尽な車によって奪われることは全く耐えがたいことであり、断じて許されるものではありません。しかし、いくら注意していても、運転者の過失による事故は防ぎようがありません。</p> <p>(1) そこで、通学路の安全対策と児童生徒への交通安全指導はどのように行われているのかお伺いいたします。</p> <p>(2) 警察署、交通安全協会、PTAなどとの連携はどのようにになっているのかお伺いいたします。</p> <p>(3) 冬期間は、厚着をすることによって、動作が鈍くなったり、積雪や凍結により滑りやすくなり、事故の危険が高くなります。こうした状況の中での安全指導についてお伺いいたします。</p>	教 育 長
		<p>4. 校内いじめや不登校について 以前このことについて質問したときに、本市ではいじめや不登校は少ないとのご答弁をいただきました。現在も良好な学習環境にあることとは思いますが、マスコミ等の報道によりますと、全国的には依然なくなるというのであります。</p> <p>(1) そこで再度お伺いいたしますが、その後、本市ではこうしたことは起きていないのでしょうか。</p> <p>(2) 先生方はいじめを防ぐために、常にどのようなことに配慮して教育指導にあてられているのでしょうか。もしそうしたことがあった場合は、どのような指導を行っているのでしょうか。</p>	教 育 長
2	14番 佐 藤 聡 一	<p>1. 白石市職員人事におけるキャリア選択希望制度について 本市の行政サービスを高い水準で効率的に実施・継続していくためには、特定の行政分野において専門知識と経験をもった職員を育成していくことが必要と考える。本市職員人事においても、キャリア選択希望制度が既に実施されている。これに関連し質問する。</p> <p>(1) 白石市キャリア選択希望制度の要旨を伺う。</p> <p>(2) 本市のさまざまな計画策定等において民間のコンサルティングサービスの利用は何件であるのか。また、コンサルティングサービス委託にかかる年間予算の合計も伺う。</p> <p>(3) 現在、市職員の研修はどのように行われているのか。また、研修にかかる本年度の予算の合計を伺う。</p> <p>(4) 現在、白石市キャリア選択希望制度の適用は、税務分野に限られているが、今後は他の分野への適用を考えているのかを伺う。</p>	市 長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
	14番 佐藤 聡一	2. 防犯カメラの設置について (1) 本年9月27日に一般社団法人 安全・安心まちづくりICT推進機構との間で、「防犯カメラを併設した自動販売機の設置及び管理に関する協定書」が結ばれた。この防犯カメラ映像の管理は、どこでどのように行われているのかを伺う。 (2) 自動販売機と併設の防犯カメラは、10カ所で15台の設置と聞いているが、今後、この防犯カメラ設置拡大の予定や考えがあるのかを伺う。	市長
		3. 観光振興策について 市長が議会定例会冒頭に行なった所信表明において、観光資源を国内外へ発信し、観光客でにぎわうまちにしたいと表明をされた。 (1) 観光振興策として、現時点で考えている方策、または方針を伺う。	市長
3	16番 松野 久郎	1. 学校統合準備委員会と専門部会の開催状況と協議内容等について 第420回白石市議会定例会の一般質問において、学校統合に伴う具体的なロードマップについて質問いたしました。 準備委員会については、節目節目での調整・報告ということで、年3回程度、専門部会については、2カ月に一度程度の開催予定と答弁をいただきました。 これを踏まえ質問いたします。 (1) これまでの開催回数及び協議内容、また、決定事項等があるのか伺います。 (2) 専門部会での協議内容を、どのような方法で保護者や地域の方に伝えているのか伺います。 (3) 準備委員会や専門部会での協議内容について、保護者等との意見交換会等を開くことを考えているのか伺います。	教育長
		2. 白石市情報センター(アテネ)の事業内容について 平成9年10月31日に竣工し、平成10年7月6日にオープンした白石市情報センター「アテネ」は、当時の「広報しろいし」によると、『保健福祉、マルチメディア塾など、白石市の21世紀を拓くネットワークを構築する情報館』として紹介されておりました。 オープンから18年が経過し、まさにICT(情報通信技術)社会を向かえた中、白石市情報センター(アテネ)の事業内容について質問いたします。 (1) オープン時の事業として、保健福祉、教育の情報化、マルチメディア塾等とありましたが、具体的にどのような事業を行い、成果をどのようにとらえているのか伺います。 (2) 現在、教育委員会生涯学習課が主管となっておりますが、これまでは主として、どこの部署が主管で	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
	16番 松野久郎	<p>あったのか、また、現在の教育委員会主管が白石市情報センターとして適しているのか、適しているとすれば、その理由について伺います。</p> <p>(3) 今後、白石市情報センター（アテネ）をどのように活用し、事業を展開していくのか、市長の所見を伺います。</p> <p>3. 各公民館、指定管理者施設の業務洗い出し調査結果とその対応について</p> <p>第420回白石市議会定例会の一般質問において、各地区の公民館に置かれる指定管理者の業務内容について伺いました。調査中ということで、調査結果が出てきた段階で改善を検討するとの答弁をいただきました。これを踏まえ質問いたします。</p> <p>(1) 各公民館調査について、6月24日調査提出期限の調査項目と調査からの問題点等の検証内容について伺います。</p> <p>(2) 現在の業務量等を精査し、改善を検討することでしたが、どのような検証結果となり、改善をすることがあったのか伺います。</p> <p>(3) 中央公民館を除く各公民館のインターネット導入状況について伺います。</p>	教育長
4	4番 澁谷政義	<p>1. 市政の基本方針について</p> <p>先般、任期満了に伴う白石市長選挙が行われ、即日開票の結果、山田裕一氏が初当選を果たし栄誉を勝ち取られた。11月14日から第17代白石市長に就任され、今後4年間の市政運営を担うことになりました。</p> <p>市長は、選挙戦においてさまざまな公約を掲げられ市民に訴えられたが、これらの実現に向けた施策の一端をお伺いしたい。</p> <p>(1) 市長の政治家としての基本理念を伺う。</p> <p>(2) 市民との4つの約束から、一部を抜粋して3点ほど伺う。</p> <p>① 有害鳥獣対策（市民の安心）について、イノシシ退治のために鳥獣被害対策実施隊を強化するとあるが、どのような強化策なのか伺う。</p> <p>② 農業（まちのにぎわい）について、ブランド米など競争力のある農産物を育成するとあるが、具体的な育成策を伺う。</p> <p>③ 都市計画と道路（あたらしい未来地図）について、市長の頭の中には、どのような「絵」が描かれているのか、その一端を伺う。（※スマートICを除いた）</p> <p>2. 企業誘致について</p> <p>過去の定例会一般質問において、企業誘致関連の質問があるたび、オーダーメイド方式か先行造成方式かが議論になった。</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
	4番 澁谷政義	<p>これらを踏まえて、市長の所見を伺う。</p> <p>3. ドローン（小型無人飛行機）の導入について ドローンは、今や各分野（災害等、観光PR、農業振興等）で活用が期待されている。 先進的に導入を図ってはいかがか、市長の見解を伺う。</p>	市長
5	5番 沼倉啓介	<p>1. 所信表明について 過般の市長選挙において見事な戦いぶりをなされ、多くの市民の皆様より絶大なご支持を獲得され、御当選の栄に浴されましたこと、遅ればせながら、敬意と心よりのお祝いを申し上げます。 自治体行政に精通され、論戦に秀でている方ですから、胸躍らせながら一般質問の機会に向き合わせていただきます。 (1) 今般、議会の冒頭に、今後の市政に向き合う所信について示されました。 細部に渡った出来事は、今後の機会に委ね、総体的なお考えなどをお聞かせいただければと存じます。 ① 本市は、今後、平成32年までの10年間に「どのようなまちにしていくか」、それを実現するために「何をすべきか」、いわゆるまちづくりのマニュアルである第5次白石市総合計画のもと進まれています。 新たに市政を預かるお立場になられ、現在進行形のそれらに地方創生総合戦略も含めて、それらにどのようなスタンスで向き合おうとされるのかお聞かせ下さい。 (2) 次に、所信表明の市民の安心の項目でお示された地域医療の充実についてであります。 過般の選挙戦の中でもそれらについては、ある種具体的な選択肢をお話しされていた記憶がございます。 白石市外二町組合議会の議長経験をされているので、その中身については十二分に熟知なされている首長なので、単刀直入に2点についてお考えの一端をお聞かせ下さい。 ① 公立刈田総合病院には、緊急的及び長期的視野に立つ時、どのような対応の必要性が存在するとお考えでしょうか。 ② 病院に対する対応は、安易に解決できる物事の存在はないに等しい、難しいものであることは、ある種理解できます。 しかし、すべての関わっている方々が、日々血のにじむがごとき努力の繰り返しでも、なかなか視野が開けないのも理解できます。 近くに、このような病院の存在は、市民の安全安心に不可欠なものであるし、病院の元の賑わい</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
	5番 沼倉啓介	<p>の復活を願うのは万人自らの願いだと思います。</p> <p>病院維持に不可欠な出資金、負担金、補助金もそれらの大きな一助であることも理解できます。</p> <p>しかし、環境の変化に伴って、年ごとに増額傾向になっているやにお聞きします。</p> <p>出せるうちは出して維持を図ってほしい。これらも万人の希望ではないでしょうか。</p> <p>しかし、なかなか限度を超越すると、それらに対応すら厳しくなってくるのも現実であると思います。</p> <p>構成市町負担分について、構成市町の首長としてどのように向き合っていきたいと思われているのか、開示できる範囲で結構ですので、所見をお聞かせ下さい。</p> <p>(3) 次に財政手法についてであります。</p> <p>所信表明の中に、必要なものにはしっかりと予算をつけ云々が述べられているが、従来のかたすぎるほどの手法で基金積立を優先するあまり、他の自治体との差別化を図るといった地方創生の時代に沿った自治体運営の実現は厳しいと思われるが、所見をお聞かせ下さい。</p> <p>(4) 所信表明の結びに、「住みたいまち」「住み続けたいまち」「笑顔あふれる白石」を創り上げたい旨で締められておいでです。</p> <p>首長の脳裏に映し出される白石市は、どのような姿が描き出されているのでしょうか。</p> <p>今でも「新しい白石を創りましょう」、通る声で、町中に響きわたる声が今でも耳に残っています。</p> <p>首長にとっての新しい白石とは、どんなものなのかお聞かせ下さい。</p>	
6	7番 管野恭子	<p>1. 季節性インフルエンザ予防ワクチン接種の助成対象拡大について</p> <p>本件については、宮城県が子ども医療費の助成拡大を平成29年度より実施する方針を示したことにより、子ども医療費に関する本市の負担軽減が考えられることから、季節性インフルエンザ予防ワクチン接種の助成対象拡大実施を求め、平成28年6月第420回・9月第421回市議会定例会において一般質問を行っているところである。</p> <p>本市の当予防ワクチン接種助成は、中学3年生のみが対象である。13歳未満の子供たちは2回の接種が必要であり、公立刈田総合病院によれば、2回接種に7,000円を要し、子育て世代の家庭には負担が大きいと考える。</p> <p>「子どもは未来の宝」であり、子供たちの健康を守るため、また、子育て環境の向上のためにも、この機会に、接種可能年齢から中学3年生までを対象に、1回1,000円で接種できるよう、助成対象の拡大を検討すべきと考えるが、市長の見解を伺う。</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
	7番 管野 恭子	<p>2. 土のうステーションの設置について 近年の「ゲリラ豪雨」といわれる短時間で局地的に降る大雨や、大型台風などが全国的に増加傾向にあり、浸水の被害も多くなってきている。このような状況から、多くの自治体で土のうステーションを設置し、すぐに利用できる体制を整え、対応のスピード化を推進している。</p> <p>近隣自治体においても、柴田町が議員提案により、すでに設置を実施しており、住民は誰でも利用できるようになっており、さらに増設も検討中と伺っている。</p> <p>本市においても各地区の公民館など、適切な箇所に設置し、対応のスピード化を図るべきと考えるが、市長の見解を伺う。</p>	市長
		<p>3. 地域興しのスペシャリストである地域活性化伝道師の活用について 市長は所信表明において『市民の皆様が愛してやまないこの白石市を「住みたいまち」「住み続けたいまち」とし、「市民の笑顔あふれる白石」を創り上げていきたい』旨を述べておられる。共感するものである。</p> <p>この実現には各地区・地域の活性化が重要の一つであり、各地域にはそれぞれの歴史、文化、産物、風景などなど多くの貴重な事物が存在する。</p> <p>これらをさまざまな方法で活かし、地域の活性化につなげていくことが、地域の方々の笑顔に連動していく一因になっていくものと考えます。</p> <p>内閣府に、地域活性化伝道師派遣の事業がある。これは、地域興しのスペシャリストが、地域の活性化に意欲的な取り組みを行おうとする地域に対して指導・助言を行うものである。</p> <p>本市においても、活性化に意欲的に取り組もうとする地域に対し、また、そのような地域を育てながら、この地域活性化伝道師を活用していく検討をしてはどうか、市長の見解を伺う。</p>	市長
7	13番 菊地 忠久	<p>1. 農産物のブランド化について 白石市の農家人口は、総人口の約20%を占め、農業は本市の基盤産業の1つですが、農業経営は厳しい現状です。そのため、ブランド化した農産物を開発するなど競争力を持たせることが農業の振興や経営の安定につながると考えます。</p> <p>本市も、農産物のブランド化に取り組んでいるところです。「白石市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、基盤産業である農業を再生するため、本年度、食味日本一の白石産ササニシキ復活プロジェクトや直売所同士が統一した作物を生産することで販路を拡大する取り組みがなされました。</p> <p>(1) 本年度、この取り組みに対するこれまでの進捗状況について伺います。</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
	13番 菊地忠久	<p>(2) これらの事業は、国の地方創生推進交付金事業として認められています。ブランド化を成し遂げるには、期間もお金もかかるものであると理解しておりますが、交付金事業が終了した場合、それ以降の本事業はどう考えておられるか伺います。</p> <p>(3) 本市だけでなく、他地域でも数多く農産物をブランド化しようとの取り組みが行われていますが、その中でどのように差別化を図り、ブランド化を推進して競争力を付けていこうとするのか伺います。</p> <p>2. 病児・病後児保育について</p> <p>周知のとおり、我が国は少子化が進んでおります。本市も同様ですが、女性の社会進出・共働き家庭の増加などから、保育に対するニーズは増加、かつ多様化・高度化しています。</p> <p>来年度から、本市においても一時預かり事業が開始されることは、子育て支援策として有効なものと考えます。</p> <p>また、子供は突発的に発熱したり体調不良になることは当たり前のことです。熱が出やすい体質の子供もたくさんいます。だからといって、その度に仕事を休んだり、早退しなければいけないのは、保護者にとって大きな負担となり、病児・病後児保育へのニーズは高いと考えます。</p> <p>「白石市子ども・子育て支援計画」によると、平成30年度より病児・病後児保育事業を行う予定となっております。事業の確実な実施を望むところです。</p> <p>(1) 現在の計画及び今後の見通しについて伺います。</p> <p>(2) この事業に対する市長の所見を伺います。</p>	市長
8	3番 伊藤勝美	<p>1. 市長の市政運営について</p> <p>今回の選挙の結果、山田市政が誕生することになりましたが、新市長、山田市長が何をしてくれるのだろうか、これまでの白石市政の何を継承し、新たにどのようなことに挑戦をするのか、市民の皆様の期待も高いと思います。</p> <p>今後、白石市をどの方向へ目指して市政運営をされるのか、それは、選挙運動期間中に配布されました市長の選挙公報や選挙活動ビラ、選挙戦で掲げた選挙公約に記載されていることではないかと思えます。</p> <p>先般、市長の市政運営の基本方針についての所信表明がなされておりますが、何点かについてお尋ねをいたします。また、ほかの選挙公約の施策・政策については、山田市長の動向を注視しつつ、今後の議会において随時質問をしていきたいと思っております。</p> <p>(1) 今回の白石市長選挙に関して、選挙結果の投票率、得票数についての見解を伺います。</p> <p>(2) 選挙戦で掲げた選挙公約に「刈田病院を核とした地域医療の充実に取り組みます」とありますが、どのようなことなのかお聞かせ下さい。</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
	15番 佐藤 秀行	<p>た。その後平成21年、図書館の分館という形で、情報センターの2階に絵本コーナーが開設されたという経緯があります。</p> <p>図書館は、乳幼児から高齢者まで全ての市民の生涯学習の場としての働きがあります。</p> <p>また、読書の重要性ということについて、読書は、国語力を構成している「考える力」「創造力」「表現力」などを育てる上で中核となるものです。</p> <p>読書の重要性が増すことはあっても減ることはないとも言われます。自分でものを考える必要があるからこそ、読書が一層必要になります。</p> <p>そして、子供たちが、楽しみや喜びを感じながら読書に親しむことができるよう、家庭、地域、学校等が連携・協力し推進していく必要があります。</p> <p>そこで次の点についてお伺いします。</p> <p>(1) 改めて、今後どのように図書館を整備していこうと考えているのかお伺いします。</p>	
		<p>2. 「ブックスタート」の計画的推進について</p> <p>読書の習慣を幼いころから身に付けることが大切であると言われます。読書活動の現状と課題を考えるに、文化庁の調査によると、子供のみならず、大人にも「読書離れ」の傾向が見られます。</p> <p>読書習慣を身につけさせるためには、子供のころからの継続した読書指導が大切です。本を読むようにするための「最初の入り口」は聞かせることにあり、「読み聞かせ」を重視すべきであると考えます。この時期に、家庭や地域で絵本等の読み聞かせなどを積極的に行うことが望まれます。</p> <p>ブックスタートは、2000年の「読書年」を機に紹介され、2001年4月に12市町村で本格的な活動が始まり、その後全国に広がっています。</p> <p>本市においても、図書館・健康推進課・社会福祉協議会の連携により、平成20年4月から、6カ月児育児相談日に「ブックスタート」事業を始めるようになりました。「親子のふれあい」を深める取り組みとして、さらには「子育て支援」や「本と親しむ環境づくり」として期待されています。</p> <p>そこで次の点についてお伺いします。</p> <p>(1) 今後このような取り組みを、より一層計画的に進めるべきものであると考えます。このことについて所見を伺います。</p>	市長 教育長
		<p>3. 小中校生「司書講座」の開催について</p> <p>文化庁の調査によると、小・中・高等学校と進むほど「読む本の冊数」が減っています。また、県の調査によると、同じように小中高と進むほど、不読率が高い傾向にあります。</p> <p>本市の図書館の年間利用状況をみると、13歳から18</p>	教育長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
	15番 佐藤 秀行	<p>歳（学生）、つまり中高生の利用者数が、一般・児童と比べても少なく、年々減少傾向が見られます。</p> <p>図書館でも、小学4年生以上を対象に図書館の仕事体験、高校生への読み聞かせ研修会、中高生の職場体験など、子ども読書活動の推進を図っています。</p> <p>さらなる読書活動を推進していくため、子供たちの自主的な読書活動を充実させるためにも、小中高生が、幼稚園、保育所等の幼児に読み聞かせを行うなど、子供が絵本等に触れる機会が多様になるような工夫をすることも考えられます。</p> <p>また、他県の図書館でも実際行われているもので、図書館の仕事に関わりながら、司書についてのノウハウを習得し、友だちや家族に対して読書のすばらしさを伝え、本と人との結びつきを手助けするリーダー養成を図る、年間10数回に及ぶ図書館による講座開催も考えられるのではないかと思います。</p> <p>そこで次の点についてお伺いします。</p> <p>(1) 本市においても、司書講座開催などを小中高生の長期の休み等を活用して取り組んでみてはどうか。このことについての所見を伺います。</p>	
10	9番 大野 栄光	<p>1. 本市の農業について</p> <p>今年も収穫は終わった。しかし、体力の続く限り頑張った人たちも、この秋を境に米づくりをやめる人たちがいる。</p> <p>高齢化や担い手がなく、後継者がいない。農地や米の価値観も変わり、生産資材の高騰も加わり、生産するほどに赤字になる現状に、後継者は育ちにくい。</p> <p>追い打ちをかけるように、イノシシの被害である。中山間地の農家は、作付けをあきらめている人もいる。対策が急がれるが、以下の点についてお伺いしたい。</p> <p>(1) 農業を守ることは地域や環境を守り、市民が安心して生活を築くことへもつながる。高齢化が進む現状に農業存続が危ぶまれるが、本市の水田農業をどのように考えているかお尋ねします。</p> <p>(2) 後継者不足に安定して収入が得られないことも大きな要因と考えられる。自力で資本投入し、経営を支えているが、利益も少なく自助努力も限界である。多くの農家の農地を預かり、耕作放棄地をなくし、地域環境を守る耕作者への補助策は考えないのか伺います。</p> <p>(3) 担い手不足に結婚問題があると思う。適齢期の方たちも当然、多くの独身者の方たちの婚活をどのように進めていくべきなのか。農業に限らず街も疲弊し、人口減少をたどる。地域や集落が活性化されるには、家庭や家族が必要。出会いの場づくりの施策等をお伺いします。</p> <p>(4) 年間2万人が農業労働力に必要とされる。若者新規就業者の確保目標であるが、2015年で16,000人で</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
	9番 大野栄光	<p>あった。注目すべきは、農外者から就農を志す、新規参入の人が増加しているという。農村へ呼び込む施策が、積極的に取り組まれていることが要因と思われるが、本市においては、どのような現状なのかお尋ねいたします。</p> <p>(5) 近年のイノシシ被害は目に余るものがある。中山間農地に限らず、里にまで出没し、被害は拡大している。所信表明にイノシシの被害対策の強化を述べられたが、強化策をお尋ねいたします。</p>	
1 1	1番 佐藤龍彦	<p>1. 放射能汚染廃棄物の処理について 基準値以下(1キログラム当たり8,000ベクレル以下)の放射能汚染廃棄物の処理について質問いたします。 先ごろ宮城県は、基準値以下の汚染廃棄物を一般ごみと混ぜて焼却し、生じた焼却灰を管理型最終処分場に埋め立てる方針を示しました。 まず、試験焼却を経て、その後、安全性を確認することができれば、本格的に焼却が開始されることになると思われますが、県民との合意も説明もされていない中での焼却処理方針でした。 そこで、次の点について伺います。 (1) 11月3日に開催された市町村長会議で、知事から放射能汚染廃棄物の焼却に関して、説明された内容について伺う。 (2) 本市に保管されている放射能汚染廃棄物について伺う。 ① 本市に保管されている汚染廃棄物はどのようなものか。 ② 保管されている場所はどこか。 ③ 管理方法は、どのようになっているのか。 ④ 放射能の濃度測定は、行っているのか。 (3) 焼却以外の方法は考えていないのか伺う。 (4) 焼却後の最終処分場について伺う。 ① 住民への説明はどのようにしていくのか。 ② 最終処分場へ輸送する際の安全性は、担保されているのか。 ③ 最終処分場へは、どの位の濃度の廃棄物が輸送されてくるのか。 (5) 市長の今後の対応について、見解を伺う。</p>	市長
		<p>2. 子ども医療費助成制度の拡充について 本年10月より、子ども医療費助成制度の所得制限が撤廃されたことは、市内の子育て世代に大変喜ばれています。 そこで、次の点について伺います。 (1) 子ども医療費助成の拡充は、子育て支援とともに定住促進にもつながると思うがいかがか。 (2) 子ども医療費助成を高校卒業まで拡充した場合の試算は、いくら位になるのか伺う。 (3) 高校卒業まで助成を拡充できないか伺う。</p>	市長